

リアルタイム現地情報

令和6年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催しました

7月12日（金）、普及センターは令和6年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催し、水稻生産者10名が参加しました。

現地研究会では、銚田管内のイネの生育状況を把握するために設置している定点圃場や、新規に開発された除草剤の効果を確認するための技術確認圃、高温耐性品種「にじのきらめき」の現地適応性を確認するための調査圃、米粉用米品種「笑みたわわ」の安定多収栽培を確立するための調査圃など5か所で現地検討を行いました。参加者は雑草抑制効果の高い新しい除草剤や高温耐性品種、米粉用米品種特性について大変興味を示し、除草剤の施用法や肥料の投入量など具体的な栽培技術について熱心に質問していました。

また、現地を巡回する途中でスクミリンゴガイの被害圃場や、水路に発生しているナガエツルノゲイトウについても確認し、発生圃場が拡大しないよう給水口には網袋を取り付けたいなど自発的な発言があり、関心の高さが伺えました。

普及センターでは、今後も水田農業における省力化やコスト低減を推進し、儲かる農業実現に取り組んでいきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長農業）



除草剤技術確認圃場での現地検討



水路に発生したナガエツルノゲイトウを確認